

10 エピソード x 2' 30

エピソード 1 「ラ」と「ミ」

テーマ：友達になる、友達をなくす

エピソード 2 「ド」と「レ」

テーマ：友達になるには時間が必要

エピソード 3 「シ」

テーマ：友達はなくさない、いつも頭の中にいる

エピソード 4 「ソ」 に会う

テーマ：友達は分かち合うもの

エピソード 5 (全休符)

テーマ：沈黙が好き

エピソード 6 ファ

テーマ：みんな一緒

エピソード 7 「ミ」はオクターブ移動できることを発見する

テーマ：他の人がいるから自分がある。

エピソード 8 変化記号

テーマ：普通って何？

エピソード 9 和音

テーマ：一人ではできないことがある

エピソード 10 孤独

テーマ：友達によって世界がかわ

線の上にいる「ラ」※黒色文字：動きの説明

ナレーター：昔むかし、青い色の小さな男の子がいました。
男の子は2本の線の間でいつも一人ぼっちでした。
ある日、またひとりで目を覚ますと、頭の上で誰かの泣き声が聞こえました。
ラは誰かがいることに大喜び。
でも女の子は泣き続けています。ラも一緒に泣き始めました。どうして泣いているのかは分からずに。

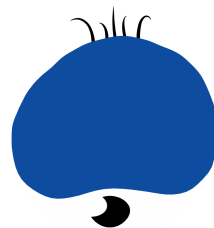
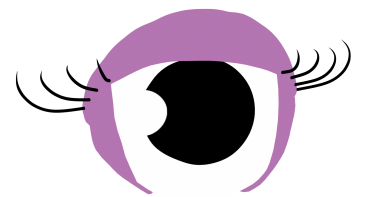
2つの音符が泣いている。
小さな女の子は小さな男の子が泣き止むのを待ち、尋ねた。

ミ：どうして泣いてるの？
ラ：わからない、君がいないから、でも君はどうして泣いていたの？
ミ：はぐれちゃったの
ラ：はぐれた？
ミ：うん、友達と・・・
ラ：友達？
ミ：そう、友達と。あなたも？はぐれちゃったの？
ラ：わからない。長いこと僕は一人だよ。
ミ：ひとり??じゃあ、あなたもはぐれちゃったのね。

ナレーター：ラは不思議そうにミを見上げ、一拍置いて言った。

ラ：僕は歌うのが大好き。君も歌うのは好き？
ミ：ええ。もちろん!

ラとミの歌を歌い始める。



エピソード2「ド」と「レ」

テーマ：友達になるには時間が必要



ラとミは線の上で退屈している。遊んでいる子供たちの声が聞こえた。ラとミは左右を見渡すが、誰もいない。彼らはお互いを見る。そして、悲しくなってくる。すると再び子どもたちの声が聞こえる。彼らはびっくりして声の方を見ると・・・レとドが線の下で一緒に遊んでいるのを見つけた。

笑っているレとド

ラ：君たちはだあれ？ おーい。

ミ：おーい！

ナレーター：ドとレは遊びに夢中でラの話しを聞こうとしません。

レとドは遊びに夢中です。

ミ：おーいい！（もっと大きな声で）

やっとレとドは話をやめ、ラとミの方を見上げる。

一瞬、静かになり、また遊びながら画面右へ消えていく。

ミ：はああ！（ためいき） 似たもの同士の友達ね。

ラ：友達？・・・僕も友達になるにはどうすればいいのかな。

ミ：待つのだ。

ラ：何を待つのだ？

ミ：ただ待つのだ。

ラは驚いてミを見る・・・

ラ：ねえ、知ってる？ここ滑り台ができるんだよ。

ミ：ん？ 滑り台？

ラ：そう！見てて。

ラは線を滑り始める。

ミ：私も！

ミは真似をして、小さく笑い出した。

ラ：ブランコもできるよ。

ラは線の上でブランコを始める。ラはカメラに向かって行ったり来たりする。

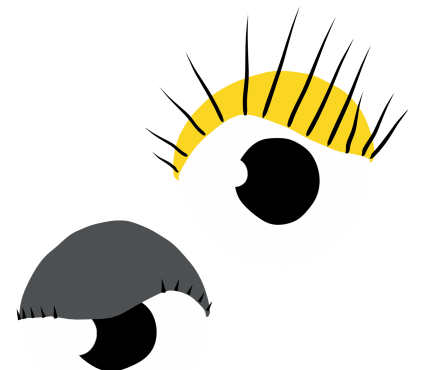
ミも同じように真似を試みるが、少ししか動かない。

ミ：できない～

そこでラは勢いをつけてブランコを揺らし、1回転した勢いでミを押しブランコに成功させる。

ラ：さっきの彼達は歌うのが好きだと思う？

ドとレが歌に入ってくる。ラとミも歌い始める、ラとミは顔を見合わせる。



ラとミは定位置で寝ている。すると歌を聞き目を覚ます。

シ：シシ・・・

ナレーター：ラとミはぐっすりと眠っています。
起こすのは無理かと思った。その時・・・

シはラとミの間に座り、彼らを見て言った。

シ：ああ、君たちはもう目を覚まさないと思ったよ。

ラは美しい少女を目にして興奮している。

ラ：君は君は・・・シ？

シ：そう、私はシ

ミ：(か細く泣いている) **ダスン・ダスン・・・**

シ：どうして泣いているの？

ラ：ミは友達をなくしてしまったんだよ。

シ：なくす？友達はなくすものじゃないわ。ミは泣きながらシの方を見る。

心の中で思っていれば、いつも一緒にいる友達よ

ラ：誰かを思う？どう言う意味？

ミ：(泣き止んで) **どうしてここにいるの？**

シ：私は一緒に歌うために他の音符を探してるんだ。

ラ：(うれしそうに) 僕達と歌ってくれる？

シ：んん～。ちょっとわからない。一緒に歌うには私のことを知らなさすぎるわ。

ミ：**そんなことないよ!お願い。**

ラ：そうだよ、僕達と歌って!

シ：わかったわ。それじゃあ、ちょっと歌ってみて。

ミとラ：ララミラミミミ

シ：ふん、悪くないわね。でも一曲全部歌える？

ミとラ：もちろん!!

シ：わかったわ、じゃあ、一緒に歌いましょう。

ラとミとシは一緒に歌い始める。



ナレーター：ソとファが自分の線の上を歩いていました。すると、他の音符の声が聞こえてきました。

ミ(姿は見えぬ): ミ、ミ～

ソ：あ、ミだ。早く早く!ファは声を聞き左右を見渡します、ソはミのほうへ走り始めます。

ああ!見つけた!僕たちずっと探してたんだよ。どこに行ってたんだい?

ミ：ええと実は・・・話さなくちゃいけないことがあるの・・・(ミはソとその周りを見渡す)ところで・・・

ファはどこに行ったの? ソは彼の周りを見る

ソ：ああ!またいないよ!

ソ(一瞬あとで反射的にミを見て)：話すことって?

ミ、ラの方を見て嬉しそうに

ミ：私・・・新しい友達を見つけたの!

ソ：すごい!新しい友達だ!

ラ：でも友達になるには待たなくちゃいけないんだよね。

ソ：そうだね、あと大事なことは、分かち合うこと。

ラは悲しくなる。

ラ：分かちあう?僕は長いことここに一人だよ。何を分け合えるのかな。

ソ：一人?

ミ：そう、ラは一人ぼっちだったの。でも、今は友達同士よ。

ラ：どうしてわかるの?

ミ：もちろん分かるわよ!

ラは不思議そうにミを見る。

ソ(ミを見ながら)：ラは歌うことができるの?

ミはラを見て、微笑む。

ラ(注意を引くようにソを見て咳払い)：エヘン!

ラはミとソと一緒に新しい歌を歌い始める。



ナレーター：いつものようにドとレが喧嘩をしながらやってきました。

ミ：ああ、またきた!!

レとドは遊びながら大きな声で歌っている。

ミ：お～い!

ドとレはやめない。彼らは、何もなかったかのように騒ぎ続ける。

ミ：お～い!

ドとレはやめない。

ミ：静かにさせるのは不可能だわ。本当に仲がいい友達ね。

ラはミとそしてドとレを見て、友達の意味がわからなかった。突然何かが聞こえる。

声：ヒック!(しゃっくりのよう)

レとドは騒ぐのをやめる。みんなとても不思議がる。

レとドは再び大きな声で騒ぎ始める。



また、聞こえる。

声：ヒック!

線の上に変な記号を見つける。ドとレは自分たちの歌を止められたことに腹をたて、立ち去る。

レ：行こうぜ!

ミ：あなたはだあれ?

奇妙な記号：僕は全休符!

ミ：いつからここにいるの?

全休符：わからない。僕は眠っちゃたんだ... そのあと...、目が覚めたらここにいたの。

皆、顔を見合わせた。

ラ：君は歌える?

全休符：ううん、僕は全休符だよ。

ラ：全休符?

全休符：そう、全休符。

ラ：つまり、どういうこと?

全休符は何もいわない。

シ：私は「全休符」をよく知ってるわよ。沈黙をつくるのよ。

全休符：そうそう、僕は小さな時からずっとこうさ。

シ：彼の問題は、自分の意思と関係なく行動することなんだ。

ラはシを見て、全休符をマジマジと観察する。

ソ：え～信じられない～!見てみたいよ! ソ～

沈黙

ソ：へー、なんて面白いんだ!歌ってたのに声が出なくなったよ!

全員：笑う



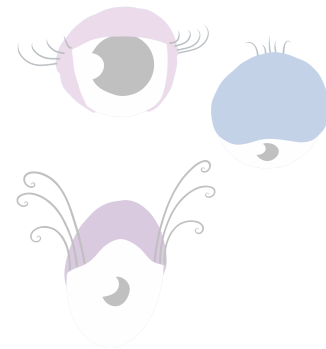
ミ：あなたも私達といっしょにいてくれる?

全休符：でも僕はなんの役にもたたないよ。

ラ：ああ、でも僕は沈黙が大好きだよ。

ミ：お願い、沈黙を聞かせて

全休符：ヒック!



沈黙の歌が始まる。

ラ：あ～、やっぱり素敵だな～

ナレーター：ラはいつもより早く目を覚ました、すると驚いたことに、ソの下に新しい音符がいることを発見しました。

ラ(小さな声で)：ミ・ミ・ミ・ミ・ミ
ミはようやく目を覚まし、ラを見てファを見つける。

ミ(びっくりして)：ファ!
他の音符達もびっくりして目を覚ます。

ソ：ファ、どこに行ってたの？

ファ：(恥ずかしそうに)よくわからない

ミ(ラを見て)：面白い、私達はずっとお互いを探してたのね!

ソ：やっと、3人で歌える。私たちの歌を歌おう。ソ～

ソは歌い始めるが、ファは他の事を考えていて、自分の順番を忘れてしまう。

ソ：ああ、始まらないよ。君はいつでも歌う時をわすれちゃうんだから。

ドとレが喧嘩をしながら来る。

ミ：ああ!彼らが通り過ぎるのを見るのになれたね。ここには留まらないけど、いつも一緒にいるみたい。

シ：もう友達みたいね!

ミ：止まった!彼達もおそらく私たちに慣れたのね。

ドとレ：ファ、僕たちの歌を歌おうよ!

ソ(ファをみながら)：あなたたちの歌?

ファは少し恥ずかしそうに、ソを見る。

ドとレ：ファ、ねえ、ファ、歌おうよ!

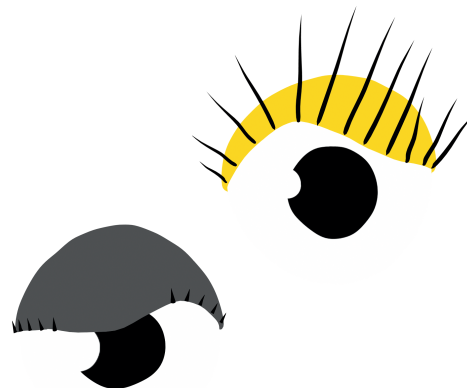
ミ：君たちはファと一緒に歌ったことがあるの?

ファ(恥ずかしそうに)：うん

ソ：え?そうなの?

ドとレ：うん。(ぶっきらぼうに)

ドとレは歌い始める。ファも彼らと歌う。他の音符たちはメロディーのリズムにのって踊る。



エピソード7 「ミ」はオクターブ移動できることを発見する テーマ：他の人がいるから自分がいる。



ナレーター：いつものようにドとレが喧嘩をしながらやってきました。でもいつもと何か違っていません。

ミ（怒りながら）：**ちょっと!**

ミ（ドとレがやったことを驚きながら）：**そこで何してるの? どうやって線を変えたの?**

ドとレはそれには答えず、シにぶつかりながら線を進む。

シ：**おい!**

ミ（小さな声で独り言）：**下にいた彼らが上にいる・・・ということは・・・私も下に行けるってこと?**

ミは下にジャンプするため勢いをつけた、他の音符達は怖がって、やめさせようとする。

他の音符：**やめて〜!**

ミはジャンプする、すると一番下の線に落ちると、画面から消えた。

ファも傾き、同じように（左下へ）落ちていく。

他の音符達は怖くなり、下を見下ろすが何も見えない。他の音符達は、ミとファがいなくなってしまう悲しむ、でも線が弾んで戻ってくる。

ロープが弾んで、他の音符達もバランスを崩して倒れた。

ミが一番下の線の真ん中におさまった。他の音符たちは順番に大笑い。

ミ：**わあ、あなたたち変わった! 面白い! みんなは私の上にいるもの。**

ラ：**変わった? 変わったのは君だけだよ。**

ミ：**フフ、本当だ! 面白い。聞いて聞いて! 歌ってみる〜! ミ〜、わー声が新しくなった! この声で歌ってみたい〜!**

ソ：**ところでファはどこ?**

ミ：**おねが〜い、みんなで歌ってみようよ。**

ミは低いミの新しいメロディーを歌い始める、ミは素早く、線から線へジャンプする。(低いミと高いミ)

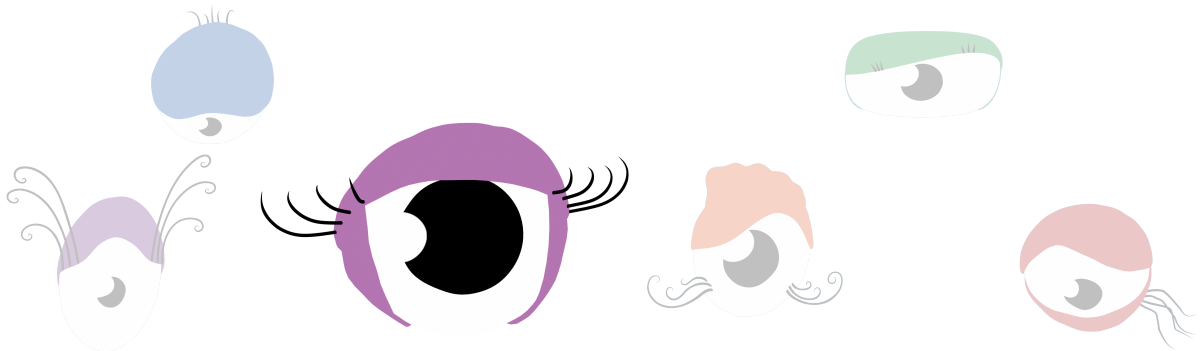
ミは嬉しくて笑う。

ミ：**おもしろ〜い**

ソ：**ん〜僕はファを探しに行こう。**

全休符：**僕も。**

ソと全休符がジャンプして画面から消える。他の音符たちはびっくりして下を見、お互いの顔を見る。



音符達はみんな一緒にいる。ドとレがいつものように喧嘩している。

ミ(怒った様子で): **ふう!**

ドは強くレにぶつかる、するとレの頭の上におかしな記号「シャープ」が現れる

レ: **痛いよ!**

みんな笑い始める。

ミ(笑いながら): **頭に何か変なのついてるよ。**

レは自分の頭の上を見ようとするが、見えない。

レ: **え?何もみえないよ。**

笑うなよ!

ドは大笑いし、レはむっとする。そこで、レもドにぶつかる。するとドの頭の上にもシャープが現れる。レは笑い始める。ミはおもしろがりシにぶつかる。するとシの頭の上に「フラット」が現れる。

ミ: **私も!**

シ(怒って): **何をやるの!私の声が壊れちゃった!(歌ってみる)シー(フラット)~**
こんな声ができるのは初めてでビックリする。

シ: **わあ!この声もとてもかわいいわ!**

ラ: うんうん

ドとレ: **ド(シャープ)~、レ(シャープ)~ 私たちも、変だね!**

ド(もう一度歌ってみる): **ド~ ああ。普通にもどっちゃった。**

ラ: **普通って何?**

シ: **シ~ 私も普通に戻ったわ。ミ、お願い、もう一度ぶつかってみて。**

ミ: **いいわよ**

ラ: **ねえ、普通って何なの?**

シ: **ぶつかって**

ミはシに続けてぶつかる。

シ: **シー(フラット)~シー(フラット)~シー(フラット)~! 声がシーフラットになったわ。**

ラ: **僕は全然、普通ってなんなのかわからないよ。**

シ: **ド、ラ、一緒に歌ってみない?**

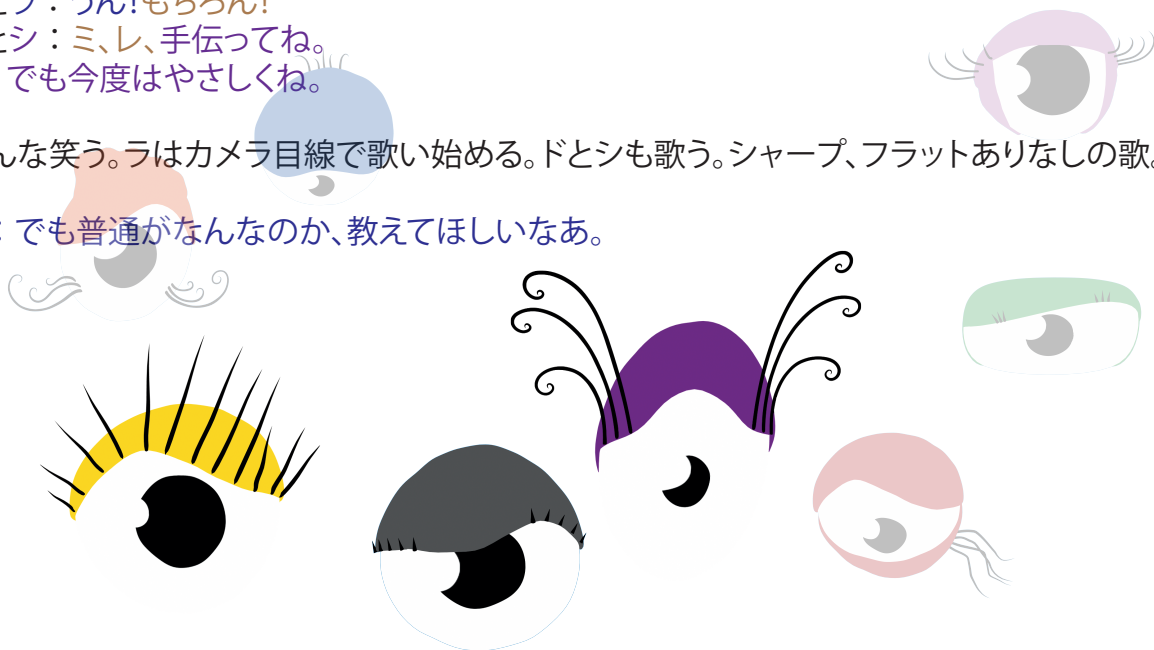
ドとラ: **うん!もちろん!**

ドとシ: **ミ、レ、手伝ってね。**

シ: **でも今度はやさしくね。**

みんな笑う。ラはカメラ目線で歌い始める。ドとシも歌う。シャープ、フラットありなしの歌。

ラ: **でも普通がなんなのか、教えてほしいなあ。**



ナレーター：いつものように、音符たちがゆっくりと目を覚ましました。するとその時…

ソとファと全休符がジャンプして元の自分の位置へ戻ってきました。他の音符たちはびっくり。

シ：どこに行っていたの？もう戻らないかと思ったわ。

ソとファと全休符は一緒に笑い出す。そしてジャンプをし始める。彼らはだんだんとオクターブをジャンプしたり、ぶつかったりしながら楽しく一緒に歌っている。音符たちはメロディーに乗り始め、だんだんとエスカレートしていく。

突然ド、ミ、ソは、垂直方向に同じ瞬間に落ちる。

すると、新しい音が生まれる：和音 みんなびっくりして、急に歌うのをやめる。ドとミとソはお互いを見て、同時に歌う。

他の音符たち：わああ！

ドとミとソは満足して笑い出す。

ドは一人で歌ってみる。

ド：え、どうしてできないんだろう。

ラ：たぶん、一人じゃできないんだじゃないの？

ドは不機嫌そうにラを見る。

レ、ファ、ラ：僕たちも!!やってみよう。

レ、ファ、ラは歌いながら、同時に垂直方向にジャンプする。：レの和音

6つの音符たちは笑いながら、ドの和音(メジャーコード)とレの和音(マイナーコード)を交換で歌う。

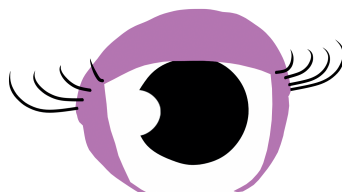
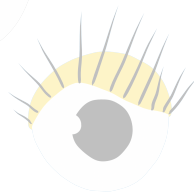
シは何も言わずに自分の場所にとどまっている、1人だけ笑っていない。他の人と一緒に遊ばなくてさみしい。

シ(さみしそうに): シシシ・・・

レとラはシのところまでジャンプして、一緒に歌う。違う和音

そして、ミとソはレとラと交換する、ミの和音

音符たちは一緒に歌い始める。



ラは線の上で一人ぼっちで目を覚ました。彼は何がなんだかわからない。

ナレーター：ある朝、ラは一人、線の上で目を覚ます。左右、上下、、あちこちを見渡すが、誰もいない……。すべて夢だったの？ もしミがないのなら？ もし誰も友達がいないなら……。もしすべて前と同じだったなら？

ラはとても悲しくなりました、前よりももっと悲しくなりました。今は前よりももっと一人を感じます。もう二度と他の音符たちと歌うことはない気がする。

すると、ミの声が聞こえた気がした。嬉しくなり、頭の上を見上げるが、何も見えません。

自分を励ますために、もし夢だったとしても、この線はいつもミの線で、他の線は友達たちの線だと言い聞かせる。ソの線は、いつまでもソの線、レの線はレ。

線は今までのただの線ではなく、違う存在になった。

ラは歌い始めた。

ラは上下左右を見ながらとてもさみしそうに歌う。まるで他の音符たちと一緒にいるように。彼には他の声が聞こえているように。

